

# 鏡川流域パートナーシップだより No.241 R7.9.12



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 土佐山学舎4年生が鏡川下流域で生きもの調査！

9月9日(火)、土佐山学舎4年生の環境学習会に、本課職員が講師として参加しました。4年生は、7月に鏡川上流域で生きもの調査や釣り体験を通して、自然環境について学んでいます。今回の環境学習会では、トリム堰を訪れ、鏡川下流域の水生生物の調査や観察、環境保全学習を行いました。



☞当日は天気が良く、予定どおり生きもの調査を実施できました。

児童の皆さんは、鏡川下流域を訪れ、「下流域もきれい！」や「上流よりも石が小さい！」など、今までの環境学習を通して気付いたことを教えてくれました^^

今回は3回目の鏡川での現地学習ということもあり、児童の皆さんはライフジャケットを素早く装着し、網や箱メガネを使いこなして生きもの調査を行っていました！ ☞



☞7月11日に実施した、鏡川上流域(鏡川源流憩いの広場)での生きもの調査の様子です。サワガニ、カエル、ヘビトンボなど、たくさんの水生生物を観察することができました！

児童の皆さんは、先生方にアドバイスをもらい、石を裏返したりするなど、水生生物が潜んでいそうな場所を夢中になって探していました♪

その結果、約30分の生きもの調査でエビや貝など多様な水生生物を見つけることができました！



調査後は、捕まえた水生生物を水槽に入れ、観察会を行いました。各生物をよく観察して特徴を見つけ、ヌマエビやスズエビなど、**図鑑を用いて**種類を特定しました！観察会后、「ばいばい！」と言いながら、捕まえた水生生物を鏡川に帰しました^^



講師として参加した、鏡川に詳しい高橋幹博さん(NPO法人土佐山アカデミー理事長)も、最初は見守っていましたが、気付けば職員が持っていた網を使い、児童の皆さんと調査を楽しんでいました^^ ☞



環境保全に関する講義では、鏡川の生態系や関係人口創出の取組などを紹介しました。講義中には、以前の環境学習で得た知識を含め、鏡川下流域に関する取組などについて、「七河川一斉清掃をしている！」や「ごみを捨てない！」といった意見を発表してくれました^^

これまで環境学習会を通して学んだことを活かし、**鏡川を守る**ように、自分ができることを考え、実践していきましょう！

鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょーどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！



※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android